

発行元：(一社)相模原市高齢者福祉施設協議会 事務局
E-mail : Sagamihara-koureikyo@peace.ocn.ne.jp

TEL : 042-707-1136 FAX : 042-707-1217
HP : http://sagamihara-koureikyo.org/

●相模原市高齡協の活動指針

本会は、高齢者福祉施設が使命とする高齢者の支援等を基本に、地域福祉の推進とサービスの質的向上を図るため、会員施設及び事業所相互の連携と共通課題について研究協議を行い、相模原市内に所在する施設及び事業所の健全な発展と高齢者福祉の推進に寄与することを目的としています。

●「さがみはら 介護の日大会」開催

11月18日、第10回「さがみはら介護の日大会」が開催されました。介護関係者のみならず、例年より一般市民の皆さんの数も大幅に増えて、350人以上の来場があり、多くの人で賑わいました。会場のあじさい会館では、

- ・「介護は笑い」と題した、
三遊亭王楽、鈴々舎馬るこ 両師匠による落語 記念講演会
 - ・各施設による研究発表
 - ・次代を担う介護職員等勤続表彰式
 - ・介護に笑顔はよく似合う写真展上映／共和中学校合唱部コラボ
 - ・高齢者支援センター介護・福祉相談／福祉機器・介護食品展示
- …など多くのイベントが催されました。



勤続表彰式

研究発表では以下4グループによる意欲的な取り組みが紹介されました。

- | | |
|---|-----------------|
| 「人材確保のための取り組み～子育て支援の職場環境づくり～」 | 介護老人保健施設 相模大野 |
| 「介護のグローバル化に向かって」 | 小規模多機能ホーム ななかまど |
| 「今よりも一歩先へ～24時間シートの理解と活用について～」 | 特別養護老人ホーム 縁JOY |
| 「世代間交流と幼老複合施設の役割～事例を通して高齢者と子供のふれあいの形について考える～」 | アルファ医療福祉専門学校 |

それぞれ、介護分野においては、切実な課題となるテーマへの取り組み。その成果が十分に表れた発表でした。今後のさらなる探求が大いに期待されます。



記念講演会



共和中学校 生徒さんの合唱



福祉相談／福祉機器・介護食品展示



写真展最優秀賞・優秀賞受賞作品

●「老人福祉施設に関する要望書」を提出

1月7日、相模原市高齢協は、介護施設・事業所の経営危機を回避するために、相模原市に対して「老人福祉施設に関する要望書」を提出しました。

「第7期相模原市高齢者保健福祉計画」の策定に当たり、素案の審議が進行しています。

市内の特別養護老人ホームの実態調査結果を見ても、介護報酬の切り下げに伴う経営実態の悪化が進行している状況が明らかになっています。さらには、介護・看護職員の人材不足の常態化が顕著になっていることも介護事業を取り巻く経営環境を脅かす大きな懸念材料になっています。

この機に、何らかの手だてを講じなければ、サービスの質の低下をもたらすどころか、個々の福祉施設の事業の存続そのものさえ危ぶまれる深刻な事態を招くものとなるでしょう。ひいては、社会への影響も甚大なものになるものと予想されます。こうした状況を踏まえた上での「要望書」です。内容は以下の通りです。



1. 介護施設・事業所の経営危機の回避について

- ① 経営実態、人件費実態を適正に反映した介護報酬の増額改定を国に求めているいただきたい。
- ② 施設・事業所の数の適正化を図っていただきたい。
- ③ 介護事業の経営状況改善に向けた協議・検討の場を設定していただきたい。

2. 介護人材の確保・育成の推進について

介護人材の確保・育成を一元的に企画実施するため、「介護人材センター」を創設していただきたい。

3. 事業継続のための支援について

- ① 「特養ホームの多床室プライバシー保護のための改修支援事業」を拡大、継続していただきたい。
- ② 施設の大型改修、再整備、設備購入等の費用負担を支援していただきたい。
- ③ 施設改修時の代替施設確保等の対応を検討いただきたい。
- ④ 風水害、地震等の大規模災害時に対応するための実効性ある協定・ガイドラインの策定に向けて、当協議会との間で合同訓練を踏まえた上で、問題点の把握、協議を継続していただきたい。

●「介護報酬改定に伴う人材確保等に関する陳情書」提出される

1月24日、神奈川県社会福祉協議会 施設部会 老人福祉施設協議会は、神奈川県高齢者福祉施設協議会ならびに横浜市、川崎市、相模原市各社会福祉協議会との協力により、衆議院・参議院両議長に対して「次期介護報酬改定に伴う神奈川県における人材確保等に関する陳情書」を提出しました。内容は以下の通りです（文面は原文のまま）。先の合同施設長会議で大久保会長より「会員の皆様に署名活動をお願いするかも知れない」との話がありましたが、政府への陳情となりましたので、署名活動は行いませんでした。

神奈川県内の高齢者が住み慣れた地域で、安心して暮らし続けるためには、人材不足を解消し、福祉・介護の現場で質の高い人材の確保・育成・定着を進めることが不可欠です。

そのため、特に大都市部の事業者に厳しい状況である介護報酬を、地域の特性を反映した仕組みに改めてもらうことを求めます。

1. 介護報酬に関わる人件費割合を、全国一律ではなく、神奈川県の実態に応じた人件費率に見直すことを求めます。
2. 地域区分による上乗せ割合について、人件費だけではなく、物価や土地・建物の賃借料についても勘案することを求めます。

●中間・管理者研修「BCP対策と実態（大規模災害に備えて）」開催

10月25日、「BCP対策と実態（大規模災害に備えて）」と題して、藤沢市にある「藤沢養護老人ホーム」施設長、川瀬和一先生を講師に迎えた中間・管理者向けの講座を開催しました。出席者は、当初の申込者数30名を超えて40名に及びました。

近年、激甚化する気象災害や切迫する巨大地震への対応が切実に求められています。自然災害や大火災などの緊急事態に遭遇した際、事業資産の損害を最小限にとどめつつ、いかに事業を継続させ、早期の復旧を図るか—その対策、計画が重要視されている現状を受けての研修でした。

公共性の高い高齢者介護事業であるからこそ、より一層切実にBCP対策への取り組みが迫られています。参加者も真剣な眼差しで熱心に聴き入っておられる様子でした。



●合同施設長会議 開催

11月8日、相模原市民会館にて合同施設長会議が開催されました。

相模原市からの報告／情報提供、「老人福祉施設に関する要望書」提出、災害対応の取り組み、介護の日大会関連事項、役員選任規定変更、その他の担当者からの連絡・報告がなされました。

本会議終了後、各地区ごとに分かれ、「地区会」が持たれました。



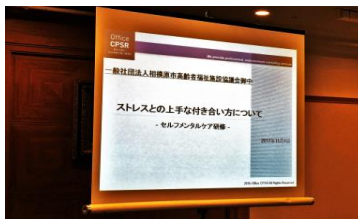
●介護助手導入促進事業の進捗

神奈川県より受託した「介護助手導入促進事業」が本格的に始まりました。この事業は、介護職の業務から「介護助手」が独立して担える業務を切り出し、**介護職の負担軽減と専門性の向上を図るとともに「介護助手」の位置づけを必要不可欠な職種として確立させ、より多くの施設で活用していくための活用促進を行う**というものです。市内の7施設が協力対象となって、合計18名の「介護助手」の皆さんが、それぞれ所属する施設で勤務に就いています。事業の開始に当たって、以下3回の研修を実施しました。

- ① **基礎研修** 10月24日 於 特別養護老人ホーム モモ
「みなさんのミッション(役割)～介護助手のための基礎研修」 高齢協 大久保 会長
「実技実習」 特養モモ 大原 施設長、同 碓屋 介護課長
- ② **働き方研修** 11月 1日 於 センチュリーホテル 相模大野 会議室
「ストレスとの上手な付き合い方について～セルフメンタルケア研修」 植田 健太 氏
- ③ **安全衛生研修** 11月 2日 於 けやき会館 会議室
「リスクマネジメントと安全衛生」 高齢協 事務局 大平



「ストレスとの上手な付き合い方について～セルフメンタルケア研修」 講師 植田健太氏



基礎研修 大久保 会長

今回の「働き方研修」の講師、上田健太氏（Office CPSR 臨床心理士・社会保険労務士事務所）による「ストレスマネジメント」をテーマにした研修が、**12月5日**に開催されます。**施設管理者向けの公開講座**ですので、奮ってご参加ください。

●各種イベント・活動報告

◆ イベント

11月18日 介護の日大会 於 あじさい会館

◆ 行政との合同会議

11月14日 高齢政策課との打合せ

◆ 定例・通常会議

11月 8日 理事会・合同施設長会議 11月22日 事務局会議

◆ 部会

11月 9日 特養部会・栄養士会 11月17日 デイ・生活相談員会

●今後の予定

◆ イベント

12月 5日 働き方研修(ストレスマネジメント) 於 センチュリーホテル相模大野

◆ 定例・通常会議

12月15日 理事会

◆ 部会

12月 4日 デイ部会 研修会 12月 8日 調査研究部会

●賛助会員

愛知金物建材株式会社
株式会社ウェブトラスト
株式会社タマパーク
Office CPSR
(臨床心理士・社会保険労務士事務所)
株式会社ケイ・アース
株式会社みらい
株式会社ディフェンス
アライブかながわ
住宅型有料老人ホーム 田名新宿住宅
日興テクノス株式会社
株式会社八千代銀行 相模原法人営業部
株式会社ナリコマエンタープライズ
株式会社IDO
敬称略／加入順

株式会社コンティ
守屋綜合法律事務所
千寿産業株式会社

株式会社三ノ輪建設
望月史郎公認会計士事務所
シープラス株式会社
株式会社中島建設
住宅型有料老人ホーム 勢水
住宅型有料老人ホーム あんず
合同会社アール
株式会社永田屋
日本ゼネラルフード株式会社
相模原商事株式会社

●編集後記

11月11日は『介護の日』でした。冒頭のレポートの通り、11月18日、「さがみはら介護の日大会」が開催されました。『介護の日』は「介護について理解と認識を深め、介護従事者、サービス利用者、介護家族を支援するとともに、利用者、家族、介護従事者、それらを取り巻く地域社会における支え合いや交流を促進する観点から、高齢者や障害者等に対する介護に関し、国民への啓発を重点的に実施するための日」として厚生労働省が定めたものだそうです。

『介護の日』は年に一回。言わば「特別な日」となっていますが、今や「介護」は決して特別なことではなく、日常の中で誰にとってもごく身近なこと。イベントに参加しながら、改めて、いろいろなことを考えさせられました。

さて、広報誌も第6号発行の運びとなりました。できるだけ月一回発行できるよう努力しております。施設や職員の紹介、イベント案内など、どんなものでも結構です。ご意見、情報など、どんどんお寄せください。ご協力をお願いいたします。

連絡先は、相模原市高齢協 事務局（広報誌担当）まで。